

6-19 山崎断層安富春基線網測量結果 (1975~1992)

Results of Measurements at the Yasutomi-Usuzuku Baseline Net across the Yamasaki Fault (1975-1992)

京都大学理学部

Faculty of Science, Kyoto University

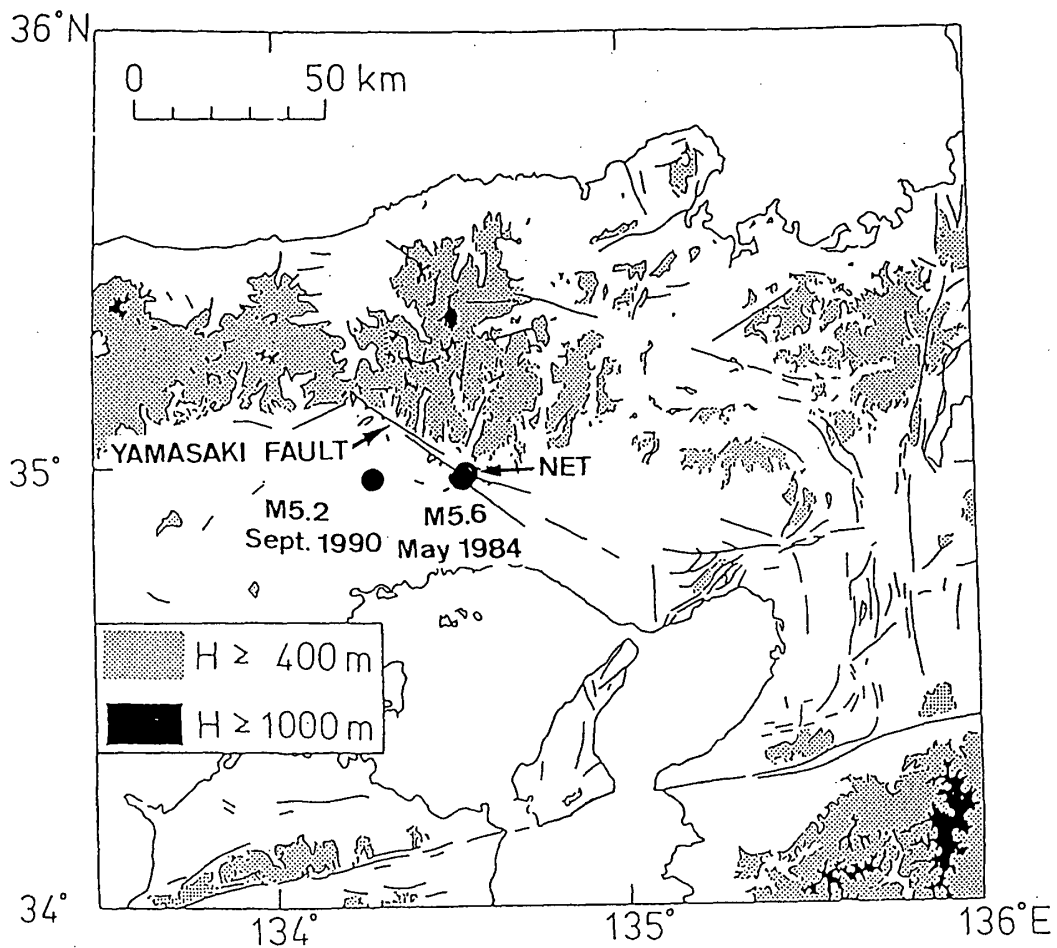
山崎断層系の安富断層を横切って設置された安富春基線網(第1, 2図)において, 1975年以降, 毎年11月下旬頃, 基線尺を用いた基線測量, 一等三角測量および三角水準測量が実施されてきた。なお, 1988年以降, 三角測量は, 辺長測量に変更されて実施されている。

この測量期間中に, 山崎断層系の近くで発生した $M > 5$ の地震は2つである(第1図に示す)。なお, 1990年9月の地震($M=5.2$)は, 山崎断層系の地震とはいえない¹⁾。

第3, 4図でみられるように, 歪や高さの変化の大きい期間は, 基線網の近傍($\Delta < 3$ km)に発生した地震(1977年, $M=3.7$ と1984年, $M=5.6$)の約1年前から地震後約2年までの間であり, その他の期間は変化が小さい。

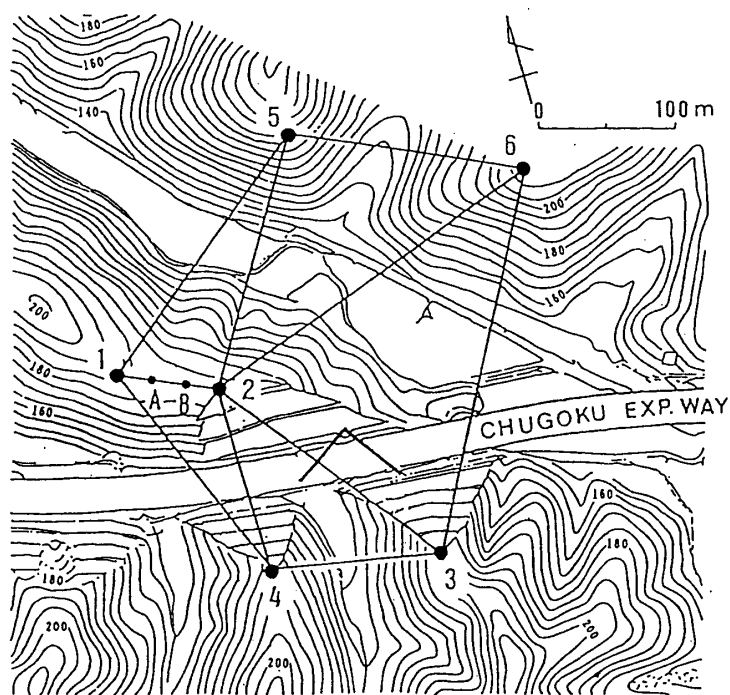
参 考 文 献

- 1) 京都大学防災研究所地震予知研究センター: 1990年9月29日兵庫県佐用付近の地震($M5.2$), 連絡会報, 45 (1991), pp. 412-418.



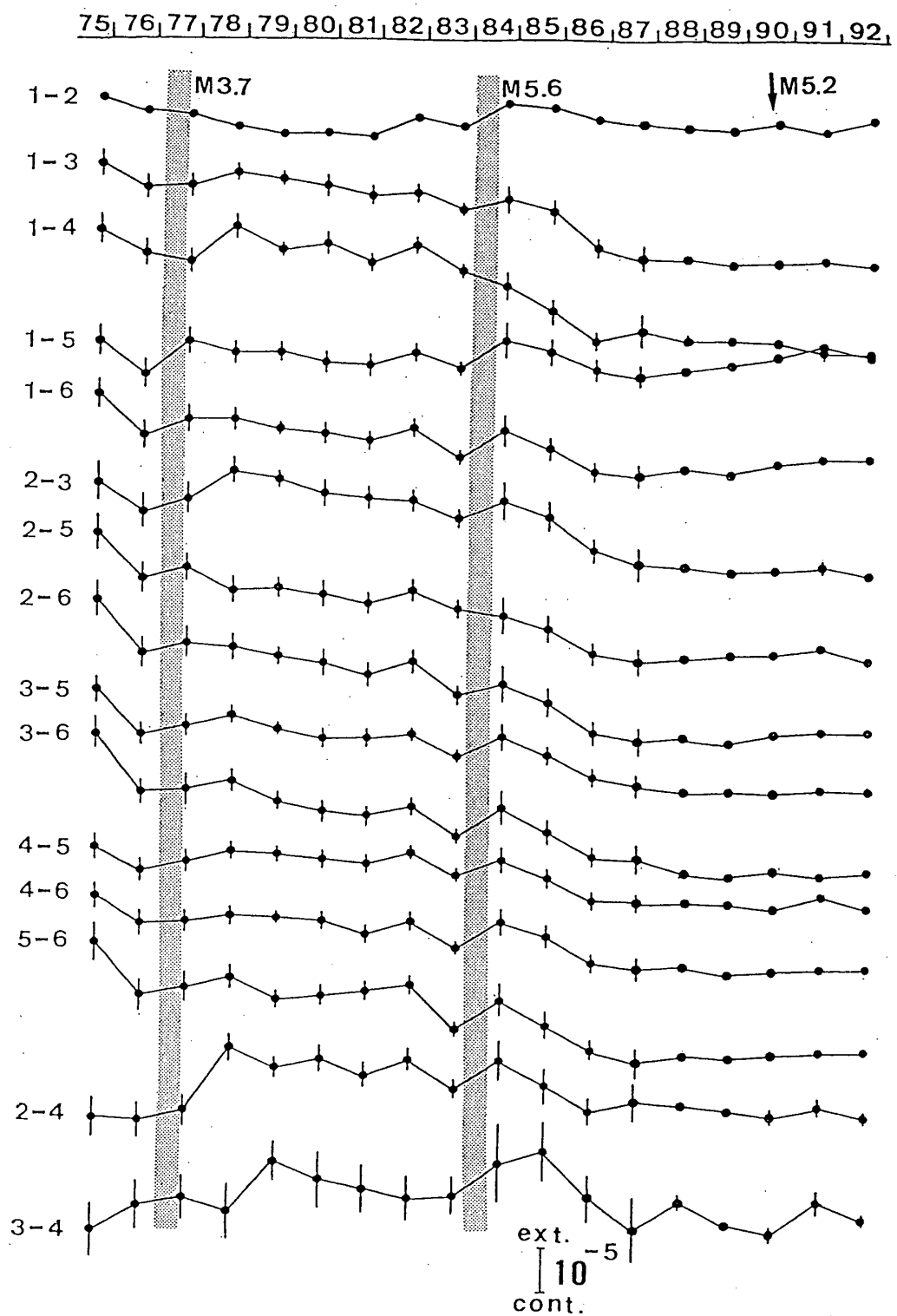
第1図 山崎断層, 安富春基線網, および山崎断層の近くで発生した地震 ($M > 5$) の震央の位置。

Fig.1 Location of the Yamasaki fault, the Yasutomi-Usuzuku baseline net and epicenters of $M > 5$ earthquakes occurring near the fault.



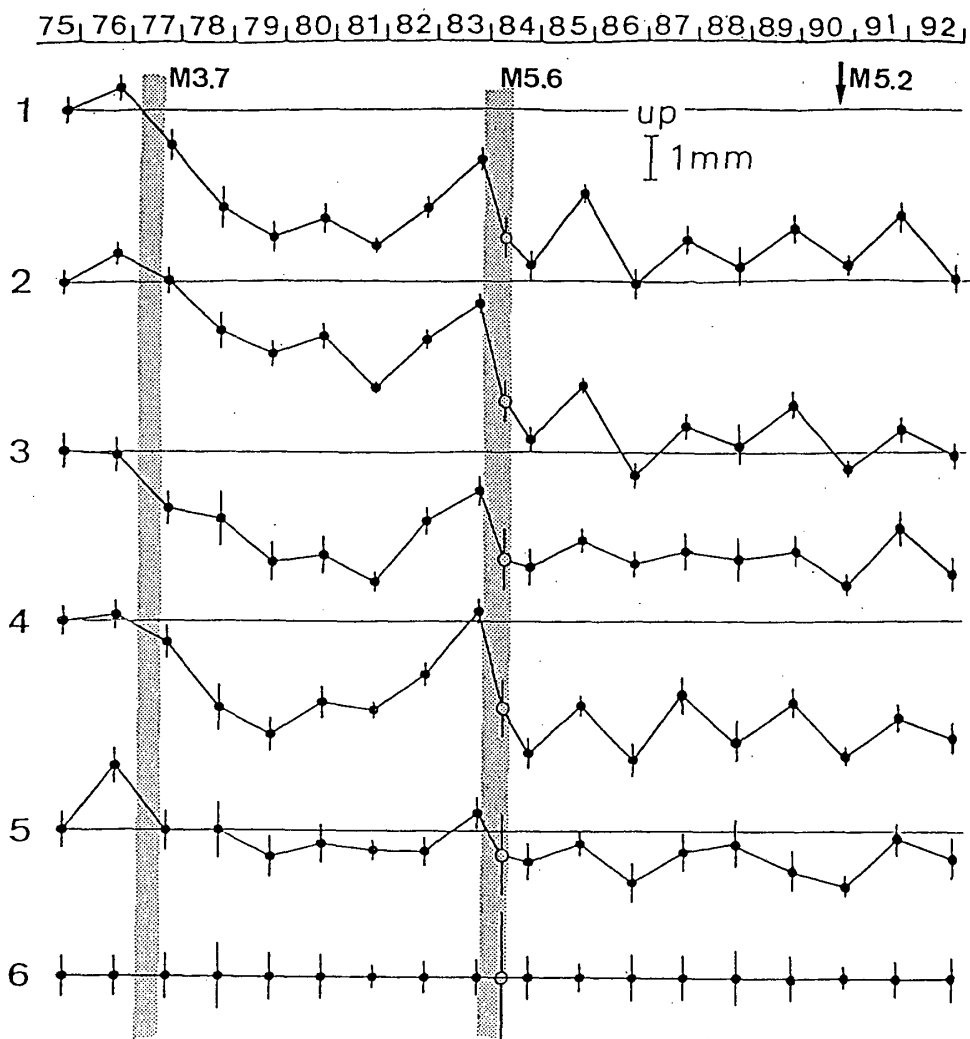
第2図 安富春基線網。

Fig.2 Arrangement of six stations forming the net.



第3図 各基線の歪変化と地震。

Fig.3 Strain changes of each baseline. Vertical thick lines indicate the time of earthquakes which occurred at epicentral distances of about 3 km.



第4図 測点6に対する各測点の高さ変化と地震。

Fig.4 Height changes of respective stations referred to station 6. Vertical thick lines are the same as in Fig.3.